



第50号 平成8年4月22日発行
第11回全国町村議会広報コンクール
入選

50号記念特別企画として、架空の
弥次議員と喜多議員が、予算成立後に
鋭い目で政治状況を分析しています。



議会だより 100号までの歩み

昭和59年の創刊号以来、議会と町民の皆さんを
結ぶかけ橋として発行されてきた議会だよりが、
今号で100号を迎えました。
そこで、これまでの議会広報コンクールでの
受賞と議会だよりの変遷を振り返ってみました。

第34号 平成4年4月22日発行
第7回全国町村議会広報コンクール
優秀賞受賞

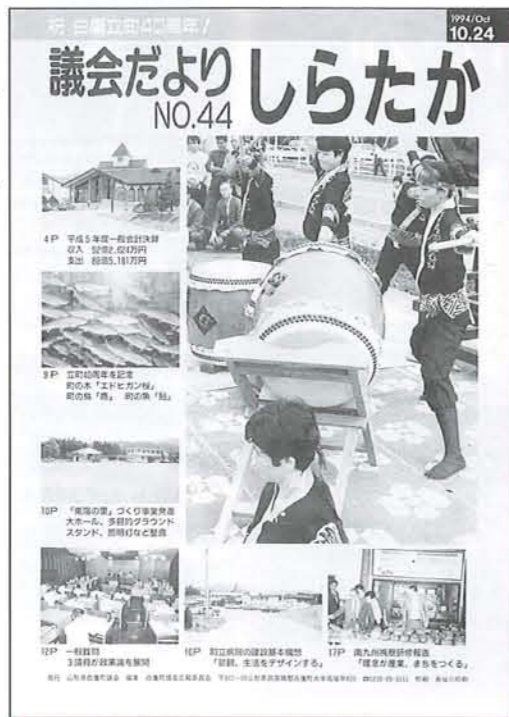
紙面がA4判に拡大されました。斬新な
レイアウトで、写真も増え読みたくなる紙
面になりました。



創刊号 昭和59年4月23日発行
議会と町民をつなぐ情報媒体として長く
継承させることが、議会の発展に寄与する
とあります。B5判1色刷でスタート。

第44号
平成6年10月24日発行
第10回全国
町村議会広報コンクール
奨励賞受賞

発行から10年。第34、
38号と同じ広報委員での
3回目の受賞でした。写
真の配置を工夫し、紙面
に目を引き寄せます。



第38号 平成5年4月22日発行
第8回全国町村議会広報コンクール
奨励賞受賞

第34号と同じ広報委員で編集。紙
面に余白が多くなり読みやすくなりま
した。臨場感あふれるカメラワークは
圧巻です。

100号によせて

昭和58年に初当選し、最初
に提案したのが『議会報発行』
で思い出深いものがあります。
「編集は町職員に頼らず議員
自らの手で」を合言葉に、昭
和59年町誕生30周年の記念す
べき年に創刊号が発行されま
した。

私は、第14号から第30号ま
で担当しましたが、「わかり
やすく、町民に読まれる広報」
をモットーにその難しさを体
験しました。

その後、皆さんは研鑽を重ね、
広報コンクールで数多く入選
されるなど、全国に「白鷹町
議会だより」が知られること
になりました。

第100号の発行を祝い、
引き続き「読みたい議会だより」
発行に期待をします。

この節目を大切に



土方俊男氏
(第3代 広報委員長)

顧みるに、当時は議会広報
のほとんどを議会事務局の主
導で編集されているのが実態
でありました。

白鷹町の議会広報は、議員
自ら編集することに決め、公
正公平にまとめ議員の目線で
町政をとらえ町民に伝えるこ
とが高く評価されました。

編集技術も向上し、平成4
年に全国町村議会広報コンク
ールで優秀賞を受賞し、県外
からも研修に訪れるようにな
りました。

何よりも大きな収穫は、議
員自ら編集することにより客
観性が培われ、町政を見る目
が変わって来たことです。

時代が大きく変わってきま
したが、いつまでも町民に愛
される議会広報であることを
願います。

議員自らの編集



新野武雄氏
(初代 広報委員長)